

正和電工株式会社の取組①

取組のタイトル	し尿と生活排水を分けて処理する新提案
取組の時期	(始期) 平成 25 年 1 月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	 
取組内容	<p>弊社ではバイオトイレ Bio-Lux と新浄化装置 Bio-Lux Water を使用し、トイレはバイオトイレで生活雑排水は新浄化装置で分けて処理するシステムを提案しています。</p> <p>バイオトイレは特別な菌は不要で普通のオガクズを使用し、水を使わずにし尿を分解処理します。使用後のオガクズの空隙には無機物（窒素、リン、カリ）かたくさん付着しているので、土壌改良材や有機肥料として活用することが出来ます。トイレットペーパーも分解消滅します。</p> <p>新浄化装置はトイレ以外の生活雑排水専用の浄化装置です。備長炭を使用し浄化しており、トイレ排水が混入していないので比較的容易に浄化することが可能です。処理水は雨水のようにきれいになります。</p> <p>この2商品を組み合わせて使用することで、水を汚さずに使用することができ、SDGsの「6. 安全な水とトイレを世界中に」に貢献することが出来ます。また、バイオトイレは災害時にも対応可能なトイレサービスの為、「11. 住み続けられるまちづくりを」にも貢献することが可能と考えており、ホームページや新聞・雑誌での記事掲載、広告掲載によって多くの人への認知度拡大に取り組んでいます。</p>
	 <p>新提案 公共下水道が不要の新提案 し尿や生活排水を分けて処理します。</p> <p>バイオトイレ</p> <p>新浄化装置</p> <p>敷地内循環</p>
	<p>図1 分けて処理する新提案</p>



写真1 見学の様子



写真2 バイオトイレ本体



写真3 新浄化装置

正和電工株式会社の取組②

取組のタイトル	駆除動物の新たな処理方法
取組の時期	(始期) 平成 26 年 3 月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	   
取組内容	<p>近年、シカやイノシシなどの害獣による農作物などへの被害が全国的に問題になっており、害獣の処理方法は従来「埋めるか燃やす」の2択しかありませんでした。</p> <p>そこで弊社ではバイオトイレの技術を応用（オガクズの力を活用）し、「分解処理する」という第3の処理方法を提案しています。</p> <p>天板に投入口があり、そのままの姿（シカの場合は角を取り除く）で投入できるので、裁断や埋設の為の穴を掘る必要がなく、投入後は自動運転の為作業者の負担軽減にもつながります。</p> <p>その後、太い骨だけが残り骨専用破砕機で太い骨を小さくすることで駆除シカの分解処理装置に再投入し全て分解消滅させることができます。</p> <p>駆除シカの分解処理装置により農作物への害獣による被害対策の過程に寄与できること、焼却、埋設からの置き換えにより「脱炭素社会の実現、大気、土壤環境等の保全」にも寄与できることから「2. 飢餓をゼロに」「12. つくる責任つかう責任」「11. 住み続けられるまちづくりを」「15. 陸の豊かさを守ろう」に貢献できます。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1 駆除シカの分解処理装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2 骨専用破砕機</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>図3 シカ投入</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図4 取り出した太い骨</p> </div> </div>

正和電工株式会社の取組③

取組のタイトル	貝殻の再資源化
取組の時期	(始期) 令和5年1月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	   
取組内容	<p>オホーツク海沿岸の地域ではホタテ貝の養殖が盛んですが、漁業活動に伴って加工場や漁港のそばでは大量の貝殻が山積みとなっており放置されています。</p> <p>放置された貝殻は臭いが出て環境にも悪いことから貝殻処理の対応策が必要とされていました。</p> <p>そこで弊社では一般の加工場でも設置可能な適正サイズの貝殻粉砕装置があればその場で貝殻を粉砕することが可能となり屋外に放置される貝殻の山が無くなると考えました。</p> <p>弊社のホタテ貝殻粉砕装置は1～10 μmまで粉砕することができ、カルシウムを豊富に含む粉は農業肥料やコンクリート骨材として簡単に再資源化することが可能になります。</p> <p>このホタテ貝殻粉砕装置を使用することで資源をよりむだなく使えるようになり、ごみの発生する量を大きく減らすことが出来ることからSDGsの「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「12. つくる責任使う責任」「14. 海の豊かさを守ろう」「15. 陸の豊かさも守ろう」に貢献することが出来ます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1 ホタテ貝殻粉砕装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2 粉砕後の貝殻</p> </div> </div>